EUIPO、2025 年の商標・意匠出願の総計が過去最多を更新

２０２６ 年 １ 月 ２７ 日

JETRO ﾃﾞｭｯｾﾙﾄﾞﾙﾌ事務所

EUIPO は 2026 年 1 月 14 日、2025 年における出願件数が EUTM（欧州連合商標）・EUD（欧州連合意匠）の双方で増加し、総計 327,735 件（前年比 +7.8%） と過去最多を記録したことを、同庁のウェブサイトで公表した。

商標は EU 域内からの出願が牽引し、意匠は初めて非 EU からの出願 が過半数を占め、中国が最大出願国となった。12 月に受付を開始した CIGI（手工芸品及び工業製品の地理的表示） も 45 件の出願が寄せられた。

詳細は次の通り。

1. 欧州連合商標（EUTM）:
   - 出願件数：196,886 件（+9.07%）
   - EU 域内：+9.4%（全体の 57.5%）
     - 上位国：ドイツ（12.7%）、イタリア（6.9%）、スペイン（6.4%）
   - 非 EU：
     - 中国：15.89%（+13.3%）で最大の出願国
     - 次いで米国（9%）、英国（4.27%）
   - 主な指定分野：
     - 広告・経営管理、電気機器、技術サービス、教育・スポーツ、衣類・履物

2. 欧州連合意匠（EUD）:
   - 出願件数：130,849 件（+5.98%）
   - 初めて 非 EU が 52%（過半数）
   - EU 域内：-0.4%（全体の 47.57%）
     - 上位国：ドイツ（13.4%）、イタリア（10.5%）、ポーランド（4.2%）
   - 非 EU：
     - 中国：29.92%（+18.4%）で最大出願国
     - 次いで米国（8.65%）、英国（3.41%）

3. CIGI（手工芸品及び工業製品の地理的表示）:
   - 2025 年 12 月より受付開始
   - 開始数週間で 45 件 を受理
   - 主な対象品：石材・鉱物、織物など

商標は 2020 年以降、意匠は 2021 年以降、中国が最大出願国となる状況が続いており、

中国企業が欧州の知財制度を積極的に活用している。欧州市場での動向を反映したものと考えられ、中国企業の欧州での出願傾向は引き続き注視が必要である。

－EUIPO のプレスリリースは、以下参照 －
https://www.euipo.europa.eu/en/news/euipo-records-the-highest-number-of-applications-in-its-history